



平成24年3月29日

各位

会社名 かどや製油株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小澤二郎  
(コード番号:2612 東証第二部・JASDAQ)  
問合せ先 取締役執行役員管理部長 戸倉章博  
(TEL: 03-3492-5545)

### 東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成24年3月29日に東京証券取引所第二部に上場致しました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。(添付資料は平成24年1月30日に公表済みの資料です。)

#### 【単体】

(単位:百万円、%)

	平成24年3月期 (予想)		平成24年3月期 第3四半期累計期間		平成23年3月期 (実績)		
	構成比	前年比		構成比		構成比	
売上高	22,400	100.0	102.6	16,510	100.0	21,835	100.0
営業利益	2,600	11.6	95.4	2,201	13.3	2,726	12.5
経常利益	2,600	11.6	95.2	2,205	13.4	2,731	12.5
当期純利益	1,550	6.9	101.8	1,228	7.4	1,521	7.0
1株当たり当期 (四半期)純利益	164円90銭			130円66銭		161円91銭	
1株当たり配当金	65円00銭			-		65円00銭	

(注) 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

本資料に記載されている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は、業況の変化等により大きく異なる可能性があります。

以上

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 かどや製油株式会社

コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小澤 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 戸倉 章博

TEL 03-3492-5545

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,510	△2.7	2,201	△9.1	2,205	△7.5	1,228	△8.1
23年3月期第3四半期	16,983	△2.4	2,423	0.9	2,384	0.0	1,336	△2.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	130.66	—
23年3月期第3四半期	142.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	22,983	17,931	78.0	1,907.64
23年3月期	22,679	17,333	76.4	1,844.06

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,931百万円 23年3月期 17,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				65.00	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	2.6	2,600	△4.6	2,600	△4.8	1,550	1.8	164.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	9,400,000 株	23年3月期	9,400,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	124 株	23年3月期	124 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	9,399,876 株	23年3月期3Q	9,399,876 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書	
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、3月11日に東北、関東地方を中心に発生した大地震の痛手からは立ち直りの兆しが見えておりますが、デフレや世界的な金融不安による急激な円高等もありそれ以前に比べると厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、生牛肉による食中毒事件の影響は収まりつつあるものの、食品からの放射能検出が続いていること等から、食品の安全性に対する意識は高く、風評被害も懸念される状況にあります。

このような状況下、当社はテレビコマーシャルの実施や新聞への折り込み広告等を通じて需要の掘り起こしを図りましたが、焼肉業界の冷え込みによる業務用の落ち込みはカバーし切れず、売上高は前年同期比2.7%減となりました。

コスト面では、原料払出価格が安定したことにより、3年前に原料購入価格が高騰したことによる仕掛品や製品の在庫評価への影響がほぼなくなったことに加え、コストセービングにも努め、第2四半期累計期間では前年同期を上回っていた製造経費が前年同期比0.5%減となったこと等から、売上原価は前年同期比6.4%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するため販促費が増加したことや、セサミンの周知を図るべく新聞広告を積極的に展開したこと等により、販売経費は前年同期比11.4%増加したため、全体では前年同期比7.9%増加となりました。

この結果、売上高は16,510百万円(前年同期比473百万円減)、経常利益は2,205百万円(前年同期比178百万円減)、四半期純利益は1,228百万円(前年同期比108百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、内食への回帰もあり家庭用は堅調に推移しておりますが、「食べるラー油」ブームが一段落したことと、焼肉業界の冷え込み等から業務用が大きく落ち込み全体では前年を下回る状況となりました。

また、原料購入価格はドルベースでは前期を上回っておりますが、為替が円高で推移していることから円ベースでは前期を下回る状況であります。

こうした環境下において、積極的な販売促進活動を行う等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は13,508百万円(前年同期比450百万円減)、セグメント利益は1,745百万円(前年同期比193百万円減)となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましても、景気デフレ下、消費者の節約志向、買い控え等の動きが続き、需要の顕著な回復は見られず前年を下回る状況となりました。

また、原料購入価格はドルベースでは前期を上回っておりますが、為替が円高で推移していることから円ベースではほぼ変わらない状況であります。

こうした環境下において、当社は原料価格の動向に合わせ販売価格を是正する等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は2,999百万円(前年同期比21百万円減)、セグメント利益は455百万円(前年同期比27百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産につきましては、前期末に比べ303百万円増加しました。これは現金及び預金が319百万円減少するなどの減少要因があったものの、売掛金が513百万円、棚卸資産が87百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ293百万円減少しました。これは未払金が189百万円増加するなどの増加要因があったものの、買掛金が206百万円、未払法人税等が264百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ597百万円増加しました。これは繰延ヘッジ損益が16百万円、その他有価証券評価差額金が3百万円減少したもの、四半期純利益1,228百万円計上、配当金の支払い610百万円により利益剰余金が617百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,474	6,155
受取手形及び売掛金	4,449	4,967
商品及び製品	905	743
仕掛品	667	522
原材料及び貯蔵品	3,020	3,415
その他	392	333
流動資産合計	15,909	16,138
固定資産		
有形固定資産	5,260	5,318
無形固定資産	18	16
投資その他の資産	1,490	1,510
固定資産合計	6,769	6,845
資産合計	22,679	22,983
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,424	2,217
未払法人税等	596	332
賞与引当金	179	89
役員賞与引当金	72	42
その他	1,302	1,556
流動負債合計	4,575	4,239
固定負債		
長期未払金	47	41
退職給付引当金	652	700
資産除去債務	69	70
固定負債合計	769	812
負債合計	5,345	5,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	12,082	12,699
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,325	17,942
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△11
繰延ヘッジ損益	16	0
評価・換算差額等合計	8	△10
純資産合計	17,333	17,931
負債純資産合計	22,679	22,983

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	16,983	16,510
売上原価	9,802	9,173
売上総利益	7,180	7,337
販売費及び一般管理費	4,757	5,135
営業利益	2,423	2,201
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	16	18
雑収入	3	5
受取補償金	2	7
営業外収益合計	26	34
営業外費用		
支払手数料	4	4
為替差損	59	22
雑損失	2	3
営業外費用合計	66	30
経常利益	2,384	2,205
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
固定資産売却益	—	0
保険差益	1	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	26	15
固定資産圧縮損	2	—
投資有価証券売却損	—	0
会員権評価損	11	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
特別損失合計	71	15
税引前四半期純利益	2,314	2,189
法人税、住民税及び事業税	977	901
法人税等調整額	△0	60
法人税等合計	977	961
四半期純利益	1,336	1,228



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,314	2,189
減価償却費	498	483
その他の償却額	0	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	△89
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△29
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△20	△20
支払手数料	4	4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
為替差損益(△は益)	1	0
会員権評価損	11	0
有形固定資産除売却損益(△は益)	26	15
固定資産圧縮損	2	—
補助金収入	△0	—
保険差益	△1	—
売上債権の増減額(△は増加)	△563	△518
破産更生債権等の増減額(△は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	△505	△87
前払費用の増減額(△は増加)	△20	△41
未収入金の増減額(△は増加)	△1	△2
その他の資産の増減額(△は増加)	23	△27
仕入債務の増減額(△は減少)	277	△203
未払金の増減額(△は減少)	△77	105
未払費用の増減額(△は減少)	△3	△3
未払消費税等の増減額(△は減少)	△157	51
その他の負債の増減額(△は減少)	△2	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
小計	1,797	1,888
利息及び配当金の受取額	44	45
支払手数料の支払額	△5	△5
補助金の受取額	0	—
保険金の受取額	3	—
法人税等の支払額	△1,319	△1,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	520	769

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△876	△471
無形固定資産の取得による支出	—	△3
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△18	△2
投資有価証券の取得による支出	△60	△4
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△952	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△610	△610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△610	△610
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,042	△319
現金及び現金同等物の期首残高	6,251	6,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,208	6,140

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第3四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,959	3,020	16,980	3	16,983
計	13,959	3,020	16,980	3	16,983
セグメント利益	1,939	483	2,423	0	2,423

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,423
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	2,423

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,508	2,999	16,508	2	16,510
計	13,508	2,999	16,508	2	16,510
セグメント利益	1,745	455	2,201	0	2,201

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,201
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	2,201

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。